

化学品の名称: QUREACC®TAIC 70

発行日: 2025/05/29 改訂日: 2025/7/23 版番号: JP-4

安全データシート

1. 化学品等及び会社情報

化学品等の名称

QUREACC®TAIC 70

推奨用途及び使用上の制限

樹脂添加剤、モノマー

供給者の会社名称、住所及び電話番号

三洋貿易株式会社

101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目11番地

電話: 03-3518-1045

緊急連絡電話番号: 03-3518-1045

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

急性毒性 (経口):	区分 4
特定標的臓器毒性 (単回ばく露):	区分 2 (中枢神経系)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露):	区分 1 (肝臓)
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	区分 2
発がん性	区分 1A
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 3 (気道刺激性)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 1 (呼吸器、免疫系、腎臓)

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:
危険有害性情報:

危険
H319 強い眼刺激
H302 飲み込むと有害。
H335 呼吸器への刺激のおそれ
H350 発がんのおそれ

H373 長期間にわたる、または反復ばく露による臓器の障害

化学品の名称: QUREACC®TAIC 70

発行日: 2025/05/29 改訂日: 2025/7/23 版番号: JP-4

安全対策:

- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
- P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
- P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- P273 環境への放出を避けること。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- P301 + P312 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。
- P330 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- P501 内容物/容器は、地方/地域/国/国際的な規制に従って廃棄する。

他の危険有害性
知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

成分

化学名	CAS No.	化審法番号 MITI番号	安衛法番号	含有量 w/w %
Triallyl Isocyanurate トリアリルイソシアヌレート	1025-15-6	5-1047	規則別表第2 の1381	70±3
dibutylhydroxytoluene ブチルヒドロキシトルエン	128-37-0	3-540, 9- 1805	規則別表第2 の874	<1
Silicon dioxide シリカ	7631-86-9	1-548	規則別表第2 の578	30±3

4. 応急措置

必要な応急措置

一般的アドバイス:

危険域から避難させる。
この安全データシートを担当医に見せる。
被災者を一人にしない。

吸入した場合:

吸い込んだ場合、新鮮な空気のところへ移動する。
不調を感じる場合、医療機関で診察を受ける。

化学品の名称: QUREACC®TAIC 70

発行日: 2025/05/29 改訂日: 2025/7/23 版番号: JP-4

- 皮膚に付着した場合:** 多量の水と石鹼で洗い流す。
- 眼に入った場合:** 慎重に数分間、眼を洗浄し続ける。
まばたきや炎症等が続く場合、医療機関で診察を受ける。
- 飲み込んだ場合:** 口をすすいでください。摂取しても健康被害を示唆する重大な兆候や症状は現れないと考えられます。気分が悪い場合は、医師の診察を受けてください。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

通常の使用において予想される条件下では、重大な危険を生じることはないと考えられます。

医師に対する特別な注意事項

症状に応じた対応をしてください。

5. 火災時の措置

5.1 消火方法

適切な消火剤: 泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素。水噴霧。砂。

使ってはならない消火剤: ウォータージェット

5.2 物質または混合物から生じる特別な危険性

消火活動中の特有の危険: 熱の影響で分解する危険性があります。火災が発生した場合、危険有害性を示す排気ガスが発生する可能性があります。

有害燃焼副産物: シアン化水素酸、一酸化炭素。危険有害性を示す分解生成物: アリルアミン

5.3 消防への助言

消火を行う者の保護: 火災が発生した場合は、速やかに現場から全員を退避させ、現場を隔離してください。人身リスクを伴う行動、または適切な訓練を受けていない行動は行わないでください。

消防火を行う者の保護: 適切な保護具と、陽圧モードで作動するフルフェイス型の自給式呼吸器(SCBA)を着用する必要があります。欧州規格 EN 469 に準拠した消防士の服装(ヘルメット、保護ブーツ、手袋を含む)は、化学事故に対する基本的なレベルの保護を提供します。

6. 漏出時の措置

6.1.1. 緊急対応要員以外の場合:

不要な要員を避難させる。

6.1.2. 緊急対応要員の場合

保護具

清掃員に適切な保護具を装備させる。

緊急時手順

区域を換気する。

6.2 環境に対する注意事項

漏洩物および流出水の拡散、ならびに土壌、水路、排水溝、下水道への接触を避けてください。製品が環境汚染(下水道、水路、土壌、または大気)を引き起こした場合は、関係当局に報告してください。水質汚染物質です。大量に放出された場合、環境に有害となる可能性があります。

6.3 封じ込めと浄化の方法と材料

回収: シャベルで掬い取るかまたは掃き集めてください。製品を回収し、乾燥した汚染されていない場所に保管してください。

除去:

地方自治体および国の規制に従い、有害廃棄物として廃棄してください。

少量の流出:

リスクがない場合は、漏れを止めてください。容器を流出場所から移動させてください。

水溶性の場合は、水で希釈し、拭き取ってください。または、水に不溶性の場合は、乾燥した不活性物質で吸収させ、適切な廃棄物処理容器に保管してください。認可を受けた廃棄物処理業者に廃棄を依頼してください。

大量流出: リスクがない場合は、漏れを止めてください。容器を流出場所から移動させてください。下水道、水路、地下室、または密閉された区域への流入を防止してください。流出物は排水処理施設に流し込むか、以下の手順に従ってください。砂、土、パーミキュライト、珪藻土などの不燃性吸収材で流出物を封じ込めて回収し、地方自治体の規制に従って廃棄するための容器に保管してください。認可を受けた廃棄物処理業者に廃棄を依頼してください。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 取扱い

保護: 飲み込まないでください。目、皮膚、衣類との接触を避けてください。蒸気やミストの吸入を避けてください。十分な換気のある場所でのみ使用してください。使用しないときは、元の容器または適合する材料で作られた承認された代替容器に入れて、しっかりと蓋を閉めてください。空の容器には製品の残留物が残っており、危険となる可能性があります。容器を再利用しないでください。飲食エリアに入る前に、汚染された衣類と保護具を脱いでください。作業者は、飲食および喫煙の前に手と顔を洗ってください。適切な個人用保護具を着用してください。この物質を取り扱い、保管、および加工するエリアでは、飲食および喫煙を禁止する必要があります。

7.2. 安全な保管条件(不適合性を含む)

地域の規制に従って保管してください。元の容器に入れ、直射日光を避け、乾燥した清潔で換気の良い場所に保管してください。混触危険物質(セクション 10 参照)および飲食物から離してください。使用するまで、容器はしっかりと閉め、密封してください。一度開封した容器は、漏れを防ぐため、慎重に再封し、立てて保管してください。ラベルのない容器には保管しない

化学品の名称: QUREACC®TAIC 70

発行日: 2025/05/29 改訂日: 2025/7/23 版番号: JP-4

ください。環境汚染を防ぐため、適切な容器を使用してください。空の容器には製品の残留物が残っており、危険となる場合があります。容器は再利用しないでください。

7.3. 特定の最終用途

1章参照

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメータ

職業性暴露限界値: データなし。

生物学的限界値: データなし。

8.2 暴露管理

適切な工学的管理

作業員の空気中汚染物質への暴露を管理するには、適切な換気を行うこと。

個人用保護具

眼／顔面の保護: 暴露から保護するため、安全眼鏡またはゴーグルを着用すること。

皮膚の保護: 適切な保護服と手袋を着用すること。適切な保護靴を着用すること。

手の保護: EN 374:2003 規格に準拠した耐薬品性、不浸透性の手袋を使用すること。多くの条件(例: 温度)により、化学防護手袋の実際の使用時間は、試験で決定された浸透時間よりもはるかに短くなる可能性があることを考慮する必要がある。

身体の保護: 身体の保護は、作業内容や暴露の可能性に応じて選択すること。例: エプロン、保護ブーツ、化学防護服。

呼吸器の保護 - 換気が不十分な場合は、呼吸器の保護具を着用してください。

熱による危険性 - データなし。

一般的な安全衛生対策 - 粉塵の吸入を避けてください。皮膚、眼、衣類との接触を避けてください。記載されている個人用保護具に加えて、密閉型作業衣の着用が必要です。建築材料の衛生および安全に関する適切な慣行に従って取り扱ってください。使用中は、飲食または喫煙をしないでください。休憩前と勤務終了時には、手または顔を洗ってください。勤務終了時には、皮膚を清潔にし、スキンケア剤を塗布してください。手袋は定期的に、また使用前に点検し、必要に応じて交換してください。

8.3 環境曝露管理

下水道への拡散を防止する。排出物が適用されるすべての大気汚染防止規制に適合していることを確認する。適用されるすべての国内、国際、および地方の規制または規定を参照する。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 基本的な物理的および化学的性質に関する情報

物理的状态	: 固体
外観	: 粉末
色	: 白色
臭い	: データなし

化学品の名称: QUREACC®TAIC 70

発行日: 2025/05/29 改訂日: 2025/7/23 版番号: JP-4

臭いの閾値	: データなし
pH	: データなし
pH 溶液	: データなし
相対蒸発速度(酢酸ブチル=1)	: データなし
融点	: データなし
比重	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
臨界温度	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
引火性	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: データなし
溶解性	: データなし
対数粘度(Log Pow)	: データなし
粘度(100°C)	: データなし
爆発性	: データなし
酸化性	: データなし
爆発限界	: データなし
n-オクタノール/水分分配係数	: データなし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

9.2 その他情報

データなし

10. 安定性及び反応性

反応性:	通常の条件下で保管および取り扱われた場合、危険な反応は発生しません。
化学的安定性:	通常の状態では安定。
危険有害反応の可能性:	通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件:	容器を乾燥した不活性ガスで覆い、空気酸化から保護してください。溶液を蒸発させて乾燥させないでください。
混触危険物質:	過酸化物、アゾ化合物などのラジカル生成物質。
危険有害な分解生成物:	シアン化水素酸、一酸化炭素。危険有害性を示す分解生成物: アリルアミン。

11. 有害性情報

化学品の名称: QUREACC®TAIC 70

発行日: 2025/05/29 改訂日: 2025/7/23 版番号: JP-4

11.1 毒性影響に関する情報

急性毒性 飲み込むと有害。

	効果量/濃度	種類	方法
急性経口毒性	707 mg/kg bw (オス) 812 mg/kg bw (メス)	ネズミ	OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)

皮膚腐食性/刺激性

皮膚刺激性の評価

皮膚刺激性: 刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼刺激性の評価

眼刺激性: 刺激性なし

呼吸器感作性または皮膚感作性

感作性の評価

呼吸器感作性 / 皮膚感作性: 非皮膚感作性

生殖細胞変異原性

変異原性評価

生殖細胞変異原性: 悪影響は認められない。

発がん性

発がん性評価

発がん性: 有害な影響なし

生殖毒性

生殖毒性の評価

生殖毒性: 悪影響は認められない。

特定標的臓器毒性 - 単回暴露

特定標的臓器毒性の評価

データなし。

特定標的臓器毒性-反復暴露

反復投与毒性の評価

28 日経口 NOAEL (雄ラット) : 15 mg/kg bw/日

28 日間経口 LOAEL (雄ラット) : 50 mg/kg bw/日

化学品の名称: QUREACC®TAIC 70

発行日: 2025/05/29 改訂日: 2025/7/23 版番号: JP-4

28日間経口NOAEL (雌ラット) : ≥ 50 mg/kg bw/日

反復投与毒性: 経口経路-全身への影響 (標的臓器) 消化器: 肝臓

吸引性呼吸器有害性

吸引性呼吸器有害性の評価

データなし

追加情報

データなし

12. 環境影響情報

12.1 毒性

水生毒性の評価:

	影響量/濃度	試験時間	生物種	試験方法
魚類に対する毒性	LC50 >100 mg/L (短期)	96 h	Oryzias latipes	OECD Guideline 203
水生無脊椎動物に対する毒性	EC50: 340 mg/l (Short term)	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202
水生藻類およびシアノバクテリアに対する毒性	EC50: >100 mg/l	72 h	Raphidocelis subcapitata	OECD Guideline 201
微生物に対する毒性	EC10: > 1000 mg/L	3 h	activated sludge, domestic	OECD Guideline 209

12.2 残留性および分解性

生分解性の評価:

生分解性はない。

12.3 生体蓄積性

生物蓄積性は低い。

12.4 土壌中での移動性

25 ° C で対数 Koc = 2.43 (KOCWIN v2.00)

12.5 PBT および vPvB 評価結果

データなし

12.6 その他の悪影響

化学品の名称: QUREACC®TAIC 70

発行日: 2025/05/29 改訂日: 2025/7/23 版番号: JP-4

重大な影響または危険有害性は知られていない

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄上の注意

地域/国の規則に従って安全な方法で廃棄する。内容物/容器は、地方/地域/国/国際的な規制に従って、認可された廃棄物センターに廃棄する。

14. 輸送上の注意

14: 輸送情報

IMDG/ADR/RID/IATA に準拠

- 14.1 UN 番号 危険物として規制されていません。
14.2 国連輸送名 該当しません。
14.3 輸送危険物分類 該当しません。
14.4 包装等級 該当しません。
14.5 環境に対する危険性 該当しません。
14.6 使用者に対する特別な注意事項 該当しません。
14.7 MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードに基づくばら積み輸送 該当しません。

15. 適用法令

関連法規

消防法: 危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

化学名	番号
2, 6-ジ-tert -ブチル-4-メチルフェノール	64

労働安全衛生法

第 57 条 2 名称等を通知すべき有害物質

化学名	安衛法番号	含有量w/w %
Triallyl Isocyanurate トリアリルシアヌレート	規則別表第2の1381	70<
dibutylhydroxytoluene ブチルヒドロキシルエン	規則別表第2の874	<1

第 577 条 2 第2項 濃度基準値設定物質

化学名	安衛法番号	含有量w/w %
-----	-------	----------

化学品の名称: QUREACC®TAIC 70

発行日: 2025/05/29 改訂日: 2025/7/23 版番号: JP-4

dibutylhydroxytoluene ブチルヒドロキシトルエン	規則別表第2の874	<1
---------------------------------------	------------	----

毒物及び劇物取締法	非該当
化学物質排出把握管理促進法	非該当
船舶安全法	危険物として規制されていない
航空法	危険物として規制されていない
海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律	
ばら積み輸送	有害液体物質には該当しない
個品輸送	海洋汚染物質には該当しない
水質汚濁防止法	
指定物質(法第2条4項、施行令第3条の3)	

16. その他の情報

その他の略語の全文

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト(カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法(日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量(半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n.o.s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q)SAR - (定量的)構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録(REACH)に関する規則(EC)No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

この安全データシートに含まれるデータは、当社の現在の知識と経験に基づき、安全要件に関してのみ製品の説明を行っています。与えられた情報は、安全な取り扱い、使用、処理、保

化学品の名称: QUREACC®TAIC 70

発行日: 2025/05/29 改訂日: 2025/7/23 版番号: JP-4

管、輸送、廃棄および放出のためのガイダンスとしてのみ設計されており、処理ガイダンスとは見なされず、保証または品質仕様は含まれていません。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連しており、本文で指定されていない限り、他の物質と組み合わせたり、あるいは処理で使用された物質には有効ではない場合があります。製品の受領者には、所有権および既存の条例や法律遵守を確認する責任があります。

以上